

リオ五輪 三宅宏実の挑戦

26日(日)



女子重量挙げ48キロ級の三宅宏実が父の義行監督と4大会目の五輪となるリオデジャネイロ大会に挑みます。五輪初出場は2004年のアテネ大会。音大出の母にピアノの英才教育を受けていた少女が重量挙げを始めてわずか4年、18歳の夏でした。続く北京五輪で6位入賞、ロンドン五輪で銀メダルを獲得しました。そんな三宅も30歳です。ロンドン以降は腰の疲労骨折など度重なるけがに苦しみ、メダリストという重圧とも闘ってきました。「諦めたらその時点で終わり」。1968年メキシコ五輪銅メダリストの義行さんは言います。思うように体が動かない三宅を「必ず戻るから大丈夫」と支え、見守ってきました。選手、監督として16年も苦楽を共にしてきた親子。リオ五輪に臨む父子の絆と三宅の成長を追いました。



*ストーリーは前週、紙面事情により休載しています。

日曜朝は『S』で始まる——。ストーリーにご期待下さい。

人口増の切り札? ただいま在留200万人以上

「移民」が見たニッポン

夕刊特集ワイド 27日(月)



「移民」が話題になっています。米大統領選ではトランプ氏が移民に厳しい政策を掲げ、批判を浴びています。では日本は? 人口が減り続ける中、経済界などには、労働力として外国人に期待する声も根強くあります。今後、多くの移民を受け入れるとすれば、問われるのは私たちの社会の「度量」です。既に長年、日本に暮らしている外国人に、彼らを取り巻く「空気」の変化を聞きました。

認知症かも? 受診させるには くらしナビA面 29日(水)

認知症とみられる人に医療機関受診を勧めても「必要ない」と拒否されてしまうことがあります。認知症は、軽度から中等度、高度障害へと進行する病気。早期の受診や診断は、その後の暮らしを整えるためにも重要です。認知症になる手前の「軽度認知障害」「主観的な認知障害」という段階で受診につなげるために家族や周囲の人たちに何ができるのかを探ります。



フグの肝、食べても平気? くらしナビA面 7月1日(金)



フグの毒による死亡者が日本では最近10年で10人出ています。フグ毒は青酸カリの約1000倍もの猛毒。ただ、「養殖フグなら肝臓を食べても大丈夫」という説もあり、食品安全委員会が議論を始めました。厚生労働省に食用の認可を申請した佐賀県は「過去のデータで毒は検出されていない」と自信を見せています。毒性メカニズムは解明されているのでしょうか。



読者の方々でつくる「女の気持ち」欄に掲載された投稿者を記者が訪ねる人気コーナー。今回は、熊本地震で自宅が破損し、安否を気遣う電話やメールが相次いだという74歳の女性宅を訪問しました。里子として数年間、家にいたベトナム人姉弟からの励ましは特にうれしかったといいます。「30年ぶりの再開」や「ベトナムから届いた義援金」は感動的な逸話です。



シリーズ参院選

18歳選挙権 若者の1票で社会は変わるのか

オピニオン面 [論点] 7月1日(金)



今回の参院選(7月10日投開票)で、全国で約240万人いる18歳、19歳の若者が選挙権を得ました。1946(昭和21)年の衆院選で20歳以上の男女に選挙権が認められて以来、70年ぶりの制度改正です。若者の政治意識は高まるのか、高齢者に向きがちだった政治家は変わるのか、行政や教育現場に与える影響は? 当事者の3人に話を聞きました。

時代が見える——。オピニオン面にご期待ください。

第71期本因坊戦第5局 29、30日

井山裕太、永世本因坊獲得なるか——第71期本因坊戦第5局が、29、30の両日、福島市で打たれます。挑戦者の高尾紳路九段に対し、井山本因坊=写真=は第2局から3連勝。タイトル防衛まであと1勝です。7冠制覇後初の防衛となるだけでなく、囲碁界に4人しかいない「永世本因坊」の資格がかかっています。本因坊を通算10期か5連覇が条件。勢いに乗って4連勝で決めるのか、高尾九段が意地を見せるか。いよいよ天王山です。

